

令和4年度
北海道立三岸好太郎美術館年報

(目次)

	ページ
1 令和4年度事業一覧	1
2 令和4年度展覧会開催状況	2
3 令和4年度展覧会別観覧者数	3
4 令和4年度曜日別・祝日別観覧者数	4
5 小・中・高・大学生が占める観覧者割合	5
6 令和4年度学校関係利用状況（展覧会観覧）	6
7 令和4年度教育普及活動等	7～10
8 作品収集状況	11～12
9 美術作品の貸出	13
10 資料・情報関係	14～15

1 令和4年度事業一覧

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
祝日等開館	29日(金)	3(火)～5日(木)		18日(月)	11日(木)	19日(月)、23日(金)	10日(月)	3日(木)、23日(水)		9日(月)	11日(土)、23日(木)	21日(火)
月曜日以外の休館日	1日(金)～3日(日)、12日(火)～17日(日)、19日(火)～22日(金)			5日(火)～10日(日)、12日(火)～15日(金)、19日(火)		20日(火)、27日(火)～30日(金)	1日(土)～2日(日)、4日(火)～7日(金)、11日(火)		6日(火)～11日(日)、13日(火)～16日(金)、29日(木)～31日(土)	1日(日)～3日(火)、10日(火)		31日(金)

展覧会	<p>所蔵品展 第1期 三岸が愛した札幌 (後期)</p> <p>4/5(火)～ 4/10(日) (6日間) *前年度 より継続</p>	<p>所蔵品展第2期 100の素描</p> <p>4/23(土)～7/3(日) (62日間)</p>	<p>特別展 1920's-1930's 三岸好太郎が生きた時代</p> <p>7/16(土)～9/25(日) (62日間)</p> <p>■同時開催 アトリエへようこそ</p>	<p>所蔵品展第3期 蝶を追いかけて</p> <p>10/8(土)～12/4日(日) (51日間)</p> <p>■同時開催 AGH事業 #みまのめ <VOL.8></p>	<p>所蔵品展第4期 デコボコンポジション</p> <p>12/17(土)～4/18(火) (84日間+10日間)</p> <p>■同時開催 スポット展示 《立てる道化》が絵本になった!</p>
-----	--	--	---	--	---

《所蔵品展観覧料》

一般510円(団体420円)、高校・大学生250円(団体170円)

近代美術館「近美コレクション」との共通観覧券

一般830円(団体670円)、高校・大学生410円(団体270円)

* 65歳以上、中学生以下、障害者手帳をお持ちの方などは無料

* 高校生は、土曜日、こどもの日、文化の日ならびに学校の活動で利用する場合は無料

2 令和4年度展覧会開催状況

1 所蔵品展

展覧会名	内容	開催期間	日数	観覧者数	(1日平均)	備考
第1期 ■三岸が愛した札幌	■三岸は生まれ育った札幌を愛し、上京後も幾度となく訪れ仲間と交流し制作した。昭和初期の札幌を映した9.5mmフィルム映像とともに三岸が愛した札幌を回顧。	令和4年4月5日(火) ～10日(日) *令和3年度からの継続	6	145人	24人	
第2期 ■100の素描	■旅先でのスケッチ、人物デッサン、《道化》シリーズや《オーケストラ》の習作、筆彩素描集『蝶と貝殻』に至るまで、三岸の素描を一堂で紹介した。	令和4年4月23日(土) ～7月3日(日)	62	1,965人	32人	
第3期 ■蝶を追いかけて ■同時開催 アートギャラリー北海道 mima-no-me #みまのめ (VOL.8)	■蝶をナビゲーターとして、《檸檬持てる少女》や《道化役者》、《飛ぶ蝶》などの名作とともに画家の一生を追ひ、作品に登場する蝶のモチーフを紹介した。 ■北海道ゆかりの若い作家を紹介するシリーズ企画8回目。新鮮な感覚と多彩な表現に光を当てた。	令和4年10月8日(土) ～12月4日(日)	51	2,202人	43人	
第4期 ■デコボコンポジション ■スポット展示 「《立てる道化》が絵本になった！」	■凸凹やザラザラの質感、厚塗りの画面をひっかく描線、貼絵(パビエ・コレ)など、三岸の実験的表現に注目して代表作を紹介した。 ■札幌在住のやまだなおとが《立てる道化》をモチーフに制作した絵本原画などを紹介した。	令和4年12月17日(土) ～令和5年3月30日(木) *「デコボコンポジション」は翌年度に継続(～4/18)	84	2,397人	29人	
計			203日	6,709人		

2 特別展

展覧会名	内容	開催期間	日数	観覧者数	(1日平均)	備考
特別展 ■1920's-1930's 三岸好太郎 が生きた時代 ■同時開催 アトリエへようこそ	■1923年の画壇デビューから、わずか10年余りの間に近代洋画史を駆け抜けた三岸好太郎。1920～30年代にかけての国内外の美術潮流とともに代表作を紹介した。 ■バウハウスに関心を深めた三岸が、晩年夢を膨らませた新アトリエの建築。竣工時の写真と現存するアトリエ(東京・鷺宮)を比較しながら建築を詳しく紹介した。	令和4年7月16日(土) ～9月25日(日)	62	2,512人	41人	
計			62日	2,512人		
合計			265日	9,221人		

3 令和4年度展覧会別観覧者数

1 所蔵品展

展覧会名	開催形式	開催日数	観覧者数	摘要
第1期 ■三岸が愛した札幌	道単	6日	145人	
第2期 ■100の素描	道単	62日	1,965人	
第3期 ■蝶を追いかけて ■同時開催 アートギャラリー北海道 mimano-me #みまのめ VOL.8)	道単	51日	2,202人	
第4期 ■デコボコンポジション ■スポット展示 「《立てる道化》が絵本になった！」	道単	84日	2,397人	
計		203日	6,709人	

2 特別展

展覧会名	開催形式	開催日数	観覧者数	摘要
特別展 ■1920's-1930's 三岸好太郎が生きた時代 ■同時開催 アトリエへようこそ	道単	62日	2,512人	
計		62日	2,512人	

◎増減

区分	令和3年度	令和4年度	増減 (R4-R3)	過去平均*	令和4年度と過去平均の比較
所蔵品展	5,531人	6,709人	1,178人		
特別展	6,269人	2,512人	▲3,757人		
計	11,800人	9,221人	▲2,579人	18,575人	▲9,354人

*過去平均は、観覧料が有料化した昭和63年度以降の観覧者数累計より算出。

4 令和4年度曜日別・祝日別観覧者数

(特別展・所蔵品展合計)

区分	令和2年度			令和3年度			令和4年度		
	開催日数	観覧者数	1日平均	開催日数	観覧者数	1日平均	開催日数	観覧者数	1日平均
平日	137日	3,225人	24人	127日	6,367人	50人	159日	5,114人	32人
土曜日	38日	1,165人	31人	36日	2,265人	63人	45日	1,633人	36人
日曜日	39日	1,194人	31人	36日	2,179人	61人	46日	1,820人	40人
祝日	10日	419人	42人	13日	989人	76人	15日	654人	44人
計	224日	6,003人	27人	212日	11,800人	56人	265日	9,221人	35人

(令和4年度祝日観覧者数)

月日	祝日	観覧者数
4月29日(金)	昭和の日	17人
5月3日(火)	憲法記念日	53人
5月4日(水)	みどりの日	37人
5月5日(木)	子どもの日	40人
7月18日(月)	海の日	37人
8月11日(木)	山の日	69人
9月19日(月)	敬老の日	36人
9月23日(金)	秋分の日	54人
10月10日(月)	スポーツの日	26人
11月3日(木)	文化の日	82人
11月23日(水)	勤労感謝の日	73人
1月9日(月)	成人の日	20人
2月11日(土)	建国記念日	37人
2月23日(木)	天皇誕生日	42人
3月21日(火)	春分の日	31人
	計	654人
7月17日(日)	どうみんの日	54人

5 小・中・高・大学生が占める観覧者割合

年度	所蔵品展					特別展				
	観覧者 総数	学校種別			全体に 占める割合	観覧者 総数	学校種別			全体に 占める割合
		小・中	高・大	計			小・中	高・大	計	
令和2年度	6,003人	375人	451人	826人	13.8%	0人	0人	0人	0人	-
令和3年度	5,531人	139人	362人	501人	9.1%	6,269人	110人	250人	360人	5.7%
令和4年度	6,709人	291人	649人	940人	14.0%	2,512人	74人	291人	365人	14.5%
平均	6,081人	268人	487人	756人	12.3%	2,927人	61人	180人	242人	10.1%

年度	合計（所蔵品展＋特別展）				
	観覧者 総数	学校種別			全体に 占める割合
		小・中	高・大	計	
令和2年度	6,003人	375人	451人	826人	13.8%
令和3年度	11,800人	249人	612人	861人	7.3%
令和4年度	9,221人	365人	940人	1,305人	14.2%
平均	9,008人	330人	668人	997人	11.7%

6 令和4年度学校関係利用状況(展覧会観覧)

月 日	学校名	生徒数	引率
4月			
月計	0校	0人	0人
5月 11日(水)	美唄市立東中学校	5人	
20日(金)	北海道大学	65人	1人
月計	2校	70人	1人
6月 2日(木)	札幌市立福井野中学校	6人	
2日(木)	札幌市立白石中学校	5人	
3日(金)	札幌市立北陽中学校	5人	
10日(金)	浦臼町立浦臼中学校	4人	
19日(日)	札幌市立東白石中学校	30人	2人
21日(火)	恵庭市立恵み野中学校	7人	
22日(水)	市立札幌大通高等学校	10人	1人
24日(金)	札幌大谷中学校	6人	
月計	8校	73人	3人
8月 11日(木)	札幌西高校・札幌手稲高校	22人	3人
20日(土)	北海道教育大学岩見沢校	27人	1人
25日(木)	砂川市立砂川中学校	9人	
月計	3校	58人	4人
10月 8日(土)	高文連道南地区全道大会	36人	9人
12日(水)	和光高等学校	21人	2人
12日(水)	北広島市立大曲中学校	6人	
14日(金)	藤沢総合高校	3人	
26日(水)	伊達市立伊達中学校	5人	
27日(木)	星槎国際高等学校	2人	

月 日	学校名	生徒数	引率
月計	6校	73人	11人
11月 7日(月)	札幌龍谷学園高等学校	24人	1人
9日(水)	札幌西高校 オンラインアート教室	31人	3人
10日(木)	札幌市立札幌中学校	4人	2人
10日(木)	札幌西高校 オンラインアート教室	34人	3人
16日(水)	市立札幌大通高等学校	36人	2人
23日(水)	北翔大学	13人	1人
24日(木)	札幌市立平岸中学校支援級	11人	5人
24日(木)	札幌市立北九条小学校	87人	3人
27日(日)	北翔大学	13人	1人
月計	9校	253人	21人
1月 31日(火)	市立中央幼稚園	19人	4人
月計	1校	19人	4人

学校名	校	生徒数	引率
学校の教育利用 合計		590人	
(学校種別毎内訳)			
区分	学校数	生徒数	引率
幼稚園	1校	19人	4人
小学校	1校	87人	3人
中学校	13校	103人	9人
高等学校	10校	219人	24人
大学	4校	118人	4人
計	29校	546人	44人

7 令和4年度教育普及活動等

① 講演・講座等

事業名/タイトル	日 時	内容等	講師・出演者等	参加者数	備 考	計
美術講演会					未実施	
講演・講座等						計 0人

② 音楽事業(コンサート等)

事業名/タイトル	日 時	内容等	講師・出演者等	参加者数	備 考	計
美術館コンサート等					未実施	
展示室						
音楽事業						計 0人

③ ワークショップ、自由工作等

事業名/タイトル	日 時	内容等	講師等	参加者数	備 考	計
マール記念日					未実施	
ワークショップ、自由工作等						計 0人

7 令和4年度教育普及活動等

④ 展示解説等

事業名/タイトル	日 時	内容等	講師等	参加者数	備 考	計
所蔵品展展示解説	ボランティア展示解説	7月の特別展から再開（7/15～） 火～土曜日（祝日を除く）13：00～15：00	北海道美術館協会の解説ボランティアによる所蔵品展展示解説。	北海道美術館協会解説部ボランティア	288人	288人
所蔵品展展示解説	開館記念日展示解説	7月1日（金） 11：00～11：30	学芸員による所蔵品展「100の素描」展示解説。	地家光二（当館主任学芸員）	8人	8人
ぐるっと三館鑑賞ツアー	近代美術館との共催 協力：知事公館	10月12日（水）10：00～12：00 10月13日（木）10：00～12：00	近代美術館・三岸美術館・知事公館の三館の展示や館内外を、美術館協会ボランティアや学芸員、知事公館長等の解説とともにめぐる鑑賞ツアー。	ウェルカム・トーク：斎藤和利（当館館長）	7人 10人	17人
	学芸員のトーク&シンク		展示室で学芸員が展示作品の解説を行う。	地家光二（当館主任学芸員）	9人	9人
学芸員のギャラリー・トーク	学芸員のトークYZM			地家光二（当館主任学芸員）	18人	18人
	木田金次郎美術館企画ツアー		展示室で学芸員が展示作品の解説を行う。	地家光二（当館主任学芸員）	18人	18人
展示解説等 計						358人

⑤ 学校教育との連携協力

事業名/タイトル・学校	日 程	内容等	講師等	参加者数	備 考	計
博物館実習協力	三岸好太郎美術館の施設・展覧会見学	8月3日（水）13:00～14:30	道立近代美術館の実施する博物館実習に協力し、当館への見学を受け入れ、館概要を講義。	指導：地家光二（当館主任学芸員）	19人	19人
指導者研修	三岸好太郎美術館の見学	7月27日（水）、1月11日（水）	長期休業期間中の教員を対象に美術館活動と活用方法についての研修 （近代美術館で主実施、三岸美術館は見学受入）		2人 各回1名	2人
学校との授業連携	北海道大学	5月20日（金）	各学校の授業内容に応じて、学芸員が館の活動等について詳しく説明。	解説：地家光二（当館主任学芸員）	66人	148人
	札幌市立大通高校	6月22日（水）		解説：地家光二（当館主任学芸員）	11人	
	北海道札幌西高等学校（オンラインアート教室）	11月9日（水）・10日（木）計4回	学校と美術館展示室をオンラインで結んだ鑑賞授業	撮影：瀬戸厚志（近代美術館学芸員） 解説：地家光二（当館主任学芸員）	71人	
職業体験の受け入れ	未実施					
自主研修等の受け入れ	未実施					
学校教育との連携協力 計						169人

7 令和4年度教育普及活動等

⑥館外活動・館外講座等

事業名/タイトル・実施場所	日 程	内容等	講師/展示作品	参加者数	備 考	計
館外講座	札幌市立北九条小学校	11月24日(木) 午前9時40分～10時25分	三岸好太郎の母校・北九条小学校の3年生の特別授業「郷土の先輩に学ぶ」で、三岸好太郎と美術館について紹介。演題「おばけのマールと三岸美術館」	地家光二(当館主任学芸員)	87人	87人
	北海道庁	令和3年8月29日(日)～令和4年7月23日(土) 令和4年7月23日(土)～令和5年7月31日(月)	北海道庁・知事室及び知事応接室での作品展示	展示作品: 《花》0-67(～7/23 知事室) 《茶畑》0-25(7/23～ 知事応接室)	未集計	
館外展示	ミギシ・サテライト	前年度より継続	北菓楼札幌本館(旧北海道立三岸好太郎美術館)活用事業に係る北海道教育委員会と(資)ホリホールディングスとの協定に基づき、当館の所蔵作品を展示。約3ヶ月ごとに展示替。	展示作品: 《婦人像(赤い服の)》0-44(3/18-6/16) 《海》0-74(6/17-9/15) 《油壺とコップ》0-84(9/16-12/15) 《二人人物》0-1(12/16-3/16)	未集計	
館外活動・館外講座等 計						87人

⑦地域の団体等との連携協力

事業名/タイトル	日 時	内容等	講師等	参加者数	備 考	計
ボランティアへの指導・助言	三岸美術館の展示に関する研修	10月	三岸美術館での解説が初めてとなる北海道美術館協会のボランティアが作成した所蔵品展「蝶を追いかけて」の解説シナリオについて、指導・助言を行った。	地家光二(当館主任学芸員)	1人	1人
	美術講座	6月2日(木)	共催	地家光二(当館主任学芸員) (会場:近代美術館)	79人	
北海道美術館協会の事業への共催または後援	美術講座プレミアム	9～10月 全5回	共催	(会場:近代美術館)	67人 5回合計受講者数 67名	401人
	特別オリエンテーション	5月11日(水)、7月26日(火)、 2月22日(水)	北海道美術館協会のボランティアを主対象に、各期の展示の趣旨や構成、出品作の特色、見どころ等について解説。	地家光二(当館主任学芸員) (会場:近代美術館)	5/11 104人 255人 7/26 92人 2/22 59人	
連携協力 計						402人

7 令和4年度教育普及活動等

⑧図書並びに美術情報の閲覧

項目	利用月	内容	アクセス件数／利用者数	備考	計	
図書コーナー	4月		54人		1,127人	
	5月		174人			
	6月		118人			
	7月		79人			
	8月	展示室2階に設置。三岸好太郎の画集、書籍、開催展覧会図録、紀要、年報、美術館報、その他関連図書・文献資料。 他館展覧会情報、「おばけのマヘル」シリーズ絵本等	127人			
	9月		75人			
	10月		100人			
	11月		154人			
	12月		41人			
	1月		56人			
	2月		60人			
	3月		89人			
				図書並びに美術情報の閲覧 計		1,127人
					教育普及活動 計 2,143人	

8 作品収集状況

令和5年3月31日現在

区分	令和4年3月末 現在作品所蔵数		今回作品収集数				作品総数(点)		令和4年3月末 現在資料所蔵数		今回資料収集数					資料総数(点)	
			基金(点)	寄贈(点)	管理換(点)	計(点)					購入(点)	寄贈(点)	管理換(点)	登録変更(点)	計(点)		
油彩	88	(34.1%)	0	0	0	0	88	(34.1%)	4	(7.5%)	0	0	0	0	0	4	(7.4%)
日本画	0	(0.0%)	0	0	0	0	0	(0.0%)	1	(1.9%)	0	0	0	0	0	1	(1.8%)
水彩・素描	160	(62.0%)	0	0	0	0	160	(62.0%)	3	(5.7%)	0	0	0	0	0	3	(5.6%)
版画	10	(3.9%)	0	0	0	0	10	(3.9%)	5	(9.4%)	0	0	0	0	0	5	(9.3%)
彫刻	0	(0.0%)	0	0	0	0	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	0	0	0	0	0	(0.0%)
工芸	0	(0.0%)	0	0	0	0	0	(0.0%)	8	(15.1%)	0	0	0	0	0	8	(14.8%)
デザイン	0	(0.0%)	0	0	0	0	0	(0.0%)	17	(32.1%)	0	0	0	1	1	18	(33.3%)
写真	0	(0.0%)	0	0	0	0	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	0	0	0	0	0	(0.0%)
その他	0	(0.0%)	0	0	0	0	0	(0.0%)	15	(28.3%)	0	0	0	0	0	15	(27.8%)
合計	258	(100.0%)	0	0	0	0	258	(100.0%)	53	(100.0%)	0	0	0	1	1	54	(100.0%)

(2) 令和4年(2022年)度収集作品の概要

収集区分	分野	作者名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	備考
登録変更	デザイン	三岸好太郎 (装丁・装画)	『奥州流血録』 (今東光著)	1930年 (先進社 刊行)	印刷・紙 四六判 本文 568頁+表紙・扉	本体：縦19.0×横13.7×厚4.0cm 箱：縦20.0×横14.3×厚4.2cm	(装丁・装画) 表紙・裏表紙・扉・箱表

(3) その他

資料所蔵総数 計54点 (三岸好太郎資料・関連資料 [油彩、水彩・素描、版画、工芸、装丁本、書簡、原稿、刊行物等] * 関連作家含む)

8 作品収集状況

③ 年度別作品収集状況（収集該当年のみ記載）

2023年3月末現在

区分	年月	昭和	43	47	50	53	54	56	57	58	59	60	62	63	平成	2	3	4	5	6	7	9	11	12	15	19	21	24	25	26	27	29	30	令和	3	計		
		42														元																			1			
油彩	寄贈	60	1		1	1		1		1	¹ _{管理換 △1}			1		1				1			2	1			1			1	1						74	
	購入		3				1	1	4					1	1			1		1															1			14
	寄託										1	1	2	△1	1	¹ _{△1}				2	△2	△1					1	1	1	¹ _{△1}			¹ _{△1}				5	
水彩・素描	寄贈	151										1										1			1									1		1	156	
	購入						1										2									1											4	
	寄託																																					
版画	寄贈	9		1																																	10	
	購入																																					
	寄託																																					
各年度収蔵数		220	4	1	1	1	2	2	4	1		1		2	1	1	2	1		2		1	2	1	1	1	1	1		1	1		1	1	1	258		
各年度寄託数											1	1	2	-1					2	-2	-1						1	1	1								5	
各年度総計		220	4	1	1	1	2	2	4	1	1	2	2	1	1	1	2	1	2		-1	1	2	1	1	1	2	1	1	1	1	1		1	1	1	263	
累計	所蔵	220	224	225	226	227	229	231	235	236	237	239	240	241	243	244	244	246	246	247	249	250	251	252	253	253	254	255	255	256	257	258	258	258	258	258		
	寄託										1	2	4	3	3	3	3	3	5	3	2	2	2	2	2	3	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5		
	総計	220	224	225	226	227	229	231	235	236	237	239	241	242	243	244	246	247	249	249	248	249	251	252	253	254	256	257	258	259	260	260	261	262	263	263		

(注) *両面作品 (0-59(1)(2)[オーケストラ／悪魔]、D-152(1)(2)[コンポジション／コンポジション]) は1点扱い。*当初の寄贈作品中、後に俣野第四郎作と判明した作品を昭和59年に近代美術館に管理換。
*昭和47年度の寄贈は《筆彩素描集 蝶と貝殻》(P-10)。当初別項目(図書)での受入であったが平成4年度に組替により版画作品登録とした。本表では、S47年度にさかのぼって版画作品として計上。

④ 収集区分別作品所蔵状況

2023年3月末現在

	寄贈	購入	所蔵計	寄託	総計
油彩	74	14	88	5	93
水彩・素描	156	4	160		160
版画	10		10		10
計	240	18	258	5	263

(参考)

※寄託作品 (5点) 「白百合」(S62)、「札幌郊外」(H1)、「植物園」(H24)
「大通公園(北海道風景)」(H26)、「金魚」(H29)

※俣野第四郎作品 (1点-昭和43年寄贈) 「三岸好太郎像」

※その他所蔵資料 (三岸好太郎資料・関連資料) 計54点
(油彩、水彩・素描、版画、工芸、装丁本、書簡、刊行物等)

9 令和4年度 美術作品の貸出

	貸出先（会場名）	出品展覧会名／同会期	貸与作品・点数（展示期間）
1	知事室秘書課（道庁知事室・知事応接室）	知事室及び知事応接室での作品展示 令和3年8月29日～令和4年7月23日 令和4年7月23日～令和5年7月31日	《花》0-67（～7/23 知事室） 《茶畑》0-25（7/23～ 知事応接室）
2	合資会社ホリホールディングス	ミギシ・サテライト （北菓楼札幌本館[旧北海道立三岸好太郎美術館]活用事業） 令和4年3月18日～令和5年3月16日 北菓楼札幌本館	《婦人像(赤い服の)》0-44（3/18-6/16） 《海》0-74（6/17-9/15） 《油壺とコップ》0-84（9/16-12/15） 《二人人物》0-1（12/16-3/16）
3	一宮市三岸節子記念美術館	「貝殻旅行ー三岸好太郎と節子展ー」 令和4年2月19日～4月10日 一宮市三岸節子記念美術館 （令和3年度からの巡回展継続）	《二人人物》0-1など計24点（ほか寄託作品2点）
4	一宮市三岸節子記念美術館	「絵本原画ニャー！猫が歩く絵本の世界」 令和4年7月30日～10月10日 一宮市三岸節子記念美術館	《猫》0-39
5	北海道立旭川美術館	「モダンの芸術 100年前のヨーロッパ、日本、旭川」 令和4年12月17日～令和5年3月12日 北海道立旭川美術館	《少女の像》0-19 《道化》0-30 《金蓮花》0-87 《筆彩素描集 蝶と貝殻》P-10 複製資料《筆彩素描集 蝶と貝殻》より 「ヴィーナスと蝶」「雲の上の蛾」「海洋を渡る蝶」「海と射光」「ヒマラヤ杉と蝶」

計 作品36点 複製資料5点

10 資料・情報関係

①刊行物

種別	刊行物名・内容	出版時期	備考
展覧会解説ガイド	特別展「1920s-1930s 三岸好太郎が生きた時代」展示解説ガイド	令和4年7月	A4判8頁 簡易印刷 北海道立三岸好太郎美術館 編集・執筆
作家リーフレット	#みまのめVOL. 8の作家解説リーフレット (石川潤、安田祐子、仲村うてな、小林龍一)	令和4年10月	A4判4頁 北海道立近代美術館・北海道立三岸好太郎美術館 編集・発行 *執筆：大下智一・瀬戸厚志（北海道立近代美術館）
絵本	絵本「道化とランプ」（え・ぶん やまだなおと）	令和4年12月	21×21cm 12頁 北海道立三岸好太郎美術館 監修（発行：やまだ書店） *「スポット展示《立てる道化》が絵本になった！」連動刊行物
展覧会事業の案内	令和5年度の展覧会、教育事業を紹介	令和5年3月	北海道立三岸好太郎美術館 編集・発行
美術館ニュース	mima mini news「北の想いに」 *三岸好太郎と北海道に関する話題等を紹介	令和5年3月	A4判二つ折り 北海道立三岸好太郎美術館 編集・発行

②特別観覧

目的	内容	件数	備考	計
展示	デジタルデータの使用	1		11件
放映	デジタルデータの使用	2		
出版	デジタルデータの使用	7		
配信（ネット等）	デジタルデータの使用、撮影	1		

特別観覧 計 11件

10 資料・情報関係

③ウェブサイト

項目	内容	利用月	アクセス件数／利用者数	備考	計
ホームページでの情報発信	美術館ウェブサイト https://artmuseum.pref.hokkaido.lg.jp/mkb 美術館の活動内容・展覧会・イベント情報、コレクション情報、関連情報等をホームページで発信。適宜更新。	2022年4月	6,090件		89,032件
		2022年5月	6,402件		
		2022年6月	7,314件		
		2022年7月	8,274件		
		2022年8月	8,642件		
		2022年9月	8,199件		
		2022年10月	8,373件		
		2022年11月	7,897件		
		2022年12月	5,745件		
		2023年1月	6,854件		
		2023年2月	6,546件		
		2023年3月	8,696件		
ウェブサイト利用 計					89,032件

④所蔵作品データ公開

「北海道デジタル図鑑」並びに文化庁による「文化遺産データベース」にて、ほぼ全作品の画像並びにデータを公開。

⑤ソーシャルメディア

ソーシャルメディア（ツイッター）を活用して、逐次的な情報提供と広報活動に取り組んだ。

ツイッターへの投稿数 128回 ツイッターのフォロワー数（定期通知者数） 令和5年3月31日現在 632名 （*平成31年2月より開始）